

かいわれ君は石けんが好き！！

皆さんはどんな洗剤をお使いですか？

洗剤には大きく分けて「石けん」と「合成洗剤」があります。

石けんの歴史は古く、古代ローマの頃にできて人類が使いつづけて安全性が確認されています。

一方、合成洗剤はまだ50年位の歴史で、その安全性は確認されていません。

写真のかいわれ大根の発芽テストを見ていただくと分かりますが、水と石けんの溶液でまいたものは普通に生長していますが、合成洗剤でまいたものは溶液の中に入らず、生長できずに最後には枯れてしまいます。洗剤の排水が川や海の生物に様々な悪影響を与え、私たちの飲み水にも残留しています。



かいわれ大根の発芽テストの方法

この実験は夏休みの子どもたちの自由研究に最適です。

夏なら1週間で結果が出ます。

用意するもの

豆腐・イチゴなどの空き容器3コ、カット綿（厚さ1cmを3枚）、かいわれ大根の種、石けん・合成洗剤各種

方法

1. 塩素を除いた水道水で、洗濯用・台所用の石けん・合成洗剤で標準使用量の2分の1で溶液を作ります。（標準使用量は容器に表示してあります）

※ シャンプーでまく時は1ℓに2.5cc、歯みがき剤は1ℓに15gを溶かして溶液を作ります。歯みがき剤は溶かしにくいので、ボウルに入れた歯みがき剤に、水を少しずつ加えながら溶かすとよいでしょう。

2. 3コの容器にカット綿を敷き、それぞれの容器に水、石けん液、合成洗剤液をひたひたに入れ、かいわれの種を50粒位ずつまき、指で軽くコロコロとして、溶液に浸るようにします。その際、種が水をかぶり過ぎないようにします。
3. 直射日光の当たらない窓側に並べて置くと、2～3日で芽が出てきます。カット綿が乾いたら、容器の隅から水道水を足します。4～5日で双葉が出てきますので、毎日観察しましょう。毎日の育ち具合を写真に撮ったり、スケッチすると良いでしょう。

合成洗剤をやめていのちと自然を守る埼玉連絡会作成「石けんのススメ」より

NPO法人埼玉エコ・リサイクル連絡会 グリーンコンシューマー委員会

